

# 支える「家族」を支えたい

障害のある方の一番の理解者であり、一緒に障害に向き合い、そして支えている「家族」。

その「家族」を支えていくために市内で活動する、精神障害者家族の会があります。その現状について、会のメンバーの方にお話を伺いました。



## 家族の会について

昭和60年に創設された精神障害者家族の会は、精神障害者が集える場としてアイビー作業所を立ち上げ、運営してきました。当初、21人のメンバーでスタートした会は、作業所の運営だけでなく、障害のことをお互いに話せる場所、情報交換ができる場所として、さまざまな活動を行っています。

その後、作業所は社会福祉協議会が運営することになりましたが、会は家族が集える場所として活動を続けています。しかしながら現在、メンバーは6人となり、高齢化も進み、会の存続が危ぶまれています。

## 精神障害者とその家族について

「精神障害」に対する偏見は未だ強く、家族もあまり表に出たがらないのが現状です。そのため、作業所には通うものの、家族の会には入らないという方もいます。「行政がやったらいい」と言われる方もおり、皆で一緒に見守っていこうという意識も低くなっているのではないのでしょうか。また、個人情報意識の高まりで直接声をかけにくいこともあり、最近ではインターネットで情報交換を行っている方も多いようです。

家族は障害者本人以上に  
苦しんでいることが多いんです。



## 家族の会の魅力

家族の会に入ること、お互いの胸の内を話すことができ、情報も共有することができ、家族といのは、実は障害者本人よりも苦しんでいることが多いので、その苦しみを和らげる手助けができればと思います。また、障害者が自立するのは簡単とは言えませんが、そのためにはまず家族の理解が何よりも重要で、家族の会はそのお手伝いができる場所だと思っています。

## アイビー作業所

現在11人の登録者がおり、プラスチック部品の加工の仕事などを行っています。作業は9時30分から15時30分（昼休み12時～13時）で、地域の民生委員やボランティアの方も関わってくれています。

精神障害者は環境の変化に弱く、担当が変わったり、長期の休みなどでもすぐに調子が悪くなったりすることが多くあります。アイビー作業所は環境の変化が少なく、入所者が落ち着いて過ごせる場所になっています。



熱心に仕事に取り組む、通所者たち



「しんどい時もあるけど、  
作業に充実感がある」

「仕事に慣れてきて、  
楽しくやっている」

家族の会の活動に関するお問い合わせはアイビー作業所(☎02147)へ。